

市町村名		国頭村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	やんばるの森拠点施設活用推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備			
担当部課名	経済課		事業実施 年度	平成 29	~ 平成 29	年度 III-1-(6)		
事業内容	やんばる国立公園指定に伴い、国頭村森林公園をやんばるの森の拠点施設として活用するため、公園のニーズ及び課題を調査し、管理運営の手法等を検討する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額 ・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	総事業費		
	A. 予算現額	5,400				5,400		
	B. 執行済額	5,314				5,314		
	うち 交付金充当額	4,250				4,250		
	執行率(%) (B/A)	98.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.4%		
執行状況の説明	・執行率は98.4%であり、計画的に執行できた。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	顧客ニーズの把握	目標	顧客ニーズを把握する	-	-	-	-	
		実績	顧客ニーズを把握した	-	-	-	-	
	施設の課題調査	目標	課題調査を実施する	-	-	-	-	
		実績	課題調査を実施した	-	-	-	-	
	施設の管理運営方法の提案	目標	運営方法を提案する	-	-	-	-	
		実績	運営方法の提案した	-	-	-	-	
今後の施設整備の概略予算の算定	目標	概略予算を算定する	-	-	-	-		
	実績	概略予算の算定をした	-	-	-	-		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	施設の現状、課題の把握	目標	現状、課題を把握する	-	-	-	-	
		実績	現状、課題を把握した	-	-	-	-	
ニーズを把握し、施設の管理運営方針の策定	目標	策定する	-	-	-	-		
	実績	策定した	-	-	-	-		

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度 目標/発現年度
	国頭村森林公園の来場者数	目標	21,000	22,000	23,000	24,317人以上	24,317人以上
	実績	19,965	—	—	—	—	
	目標						
	実績						
状況説明	<p>【H30年度】 ・来場者数は19,965人となり目標を下回っている。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】 ・来場者数が目標を下回ったことについては、台風被害による施設休館日の日数増加や施設の周知不足が主な要因である。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【H30年度】 ・施設修繕等の計画的な実施やホームページ及びパンフレット等の配布により、施設の認知度向上や魅力の発信に努める必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】 ・老朽化施設の修繕を計画的に行い安全な施設環境の維持管理に努める。また、パンフレットの更新を実施して、道の駅等への配布を強化することにより観光客の認知度を向上させ誘客を図るとともに、施設のプロモーションビデオを作成しホームページや観光案内所で放映することにより施設の魅力発信や認知度向上に取り組む。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>							

市町村名		国頭村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	小・中学校空調設備整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア 確かな学力を身につける教育の推進			
担当部課名	教育課		事業実施 年度	平成 24	~ 平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)
事業内容	小中学生の健康維持や学習意欲の向上を促すため、空調設備を整備する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H24~26年度	H27年度	H28年度	H29年度	総事業費		
	A. 予算現額	28,420		17,730	7,990	54,140		
	B. 執行済額	25,677		15,552	7,990	49,219		
	うち 交付金充当額	20,542		12,441	6,391	39,374		
	執行率(%) (B/A)	90.3%	#DIV/0!	87.7%	100.0%	90.9%		
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度は工事箇所及び設備等について、保護者から空調設備の拡充意見があり、当初の計画を変更したことによる調整に不測の日数を要し、翌年度に繰り越した。 ・H28年度は入札不調や施工時期についての制限(学校授業終了時及び長期休み時間)により工事が遅れ、翌年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は90.9%であったが、不用額は入札残が影響したものであり、概ね計画的に執行できた。 							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			H24~25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	空調設備の設置箇所数	目標	幼稚園1校 小学校7校 中学校1校	-	-	-	-	
		実績	小学校7校 中学校1校	-	-	-	-	
	空調設備設置工事の実施 学校数:4小学校(10室)・1中学校(3室) 小学校 奥間小学校・辺土名小学校・奥小学校・安波 小学校 中学校 国頭中学校	目標	-	-	-	小学校4校 (10室) 中学校1校 (3室)	-	
		実績	-	-	-	小学校4校 (10室) 中学校1校 (3室)	-	
	空調設備設置工事の実施 学校数:2小学校(3室)・1中学校(2室) 小学校 奥間小学校・辺土名小学校 中学校 国頭中学校	目標	-	-	-	-	小学校2校 (3室) 中学校1校 (2室)	
		実績	-	-	-	-	小学校2校 (4室) 中学校1校 (2室)	
成果目標(指標)	成果目標(指標)		進捗状況					
			H24~25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	空調設備の設置箇所数	目標	幼稚園1校 小学校7校 中学校1校	-	-	-	-	
		実績	小学校7校 中学校1校	-	-	-	-	

事業期間中の 成果目標	空調設備設置工事の完了 学校数:4小学校(10室)・1中学校(3室) ○小学校 奥間小学校・辺土名小学校・奥小学校・安波小学校 ○中学校 国頭中学校	目標	-	-	-	小学校4校 (10室) 中学校1校 (3室)	-
		実績	-	-	-	小学校4校 (10室) 中学校1校 (3室)	-
	空調設備設置工事の実施 学校数:2小学校(3室)・1中学校(2室) 小学校 奥間小学校・辺土名小学校 中学校 国頭中学校	目標	-	-	-	-	小学校2校 (3室) 中学校1校 (2室)
		実績	-	-	-	-	小学校2校 (4室) 中学校1校 (2室)

事業完了後の取り組み

事業完了後の 成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 目標/発現年度
屋内の暑さによる体調不良児童生徒数	目標					0人
	実績					0人
	目標					
	実績					
状況説明	【H30年度】 ・屋内の暑さによる体調不良となった児童生徒数は0人であり、目標を達成した。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【H30年度】 ・空調設備により健康維持が図られているが、学習意欲の向上に向けた適切な室温設定等に課題がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・	【H30年度】 ・室温設定を、学校環境衛生マニュアルにおける夏期水準25～28℃程度にするよう学校と環境調整を図る必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】 ・室温設定を、学校環境衛生マニュアルにおける夏期水準25～28℃程度を目標に学校と環境調整を図る。 ・空調設備の適切な室温設定により、小中学生の健康を維持する。また、引き続き授業に集中できる環境を整えることで学力向上につなげていく。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・
--

市町村名		国頭村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	奥区地域づくり計画策定事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(7)-イ 交流と共創による農山漁村の活性化	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施年度	平成27	~	平成29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	年間を通じて奥地区ならではの自然や文化を活かしたツアープログラムを実施するため、具体的手法の確立及び実施体制の構築を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	総事業費	
	A. 予算現額	9,600	20,258	9,558		39,416	
	B. 執行済額	7,549	19,796	8,921		36,266	
	うち 交付金充当額	6,039	15,837	7,136		29,012	
	執行率(%) (B/A)	78.6%	97.7%	93.3%	#DIV/0!	92.0%	
	執行状況の説明	・最終的な執行率は92.0%であったが、不用額は入札残が影響したものであり、概ね計画的に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	資源調査の実施	目標	3回	-	-	-	-
		実績	3回	-	-	-	-
	振興手法の検討	目標	地域づくり計画の検討	-	-	-	-
		実績	活動目標・取組内容設定	-	-	-	-
	人づくり計画の作成	目標	地域づくり計画の検討	-	-	-	-
		実績	区民の体制づくり	-	-	-	-
	社会実験の計画の作成	目標	地域づくり計画の検討	-	-	-	-
		実績	ツアープログラムの決定	-	-	-	-
	資援ハード計画の作成	目標	地域づくり計画の検討	-	-	-	-
		実績	移植先の決定	-	-	-	-
	住民ワークショップの開催	目標	4回	-	-	-	-
		実績	4回	-	-	-	-
コイの移植先水路測量設計の実施	目標	測量設計の実施	-	-	-	-	
	実績	測量設計報告完了	-	-	-	-	

	「地域づくりゆんたく会」の開催(3回)	目 標	—	3回	—	—	—
		実 績	—	5回	—	—	—
	ツアープログラムの社会実験(1回)	目 標	—	1回	—	—	—
		実 績	—	1回	—	—	—
	「コイ」の移植施設整備工事実施	目 標	—	工事実施	—	—	—
		実 績	—	工事実施	—	—	—
	「地域づくりゆんたく会」の開催(4回)	目 標	—	—	4回	—	—
		実 績	—	—	4回	—	—
	事業の具体化に向けた取組	目 標	—	—	具体化に向けた取組	—	—
		実 績	—	—	具体化に向けた取組 ・イベント3回 ・食に関する専門的研修 (試作会・ゆんたく会・講演会)	—	—
	3か年の事業を通じて得られた地域づくりにおける課題等を整理	目 標	—	—	課題等の整理	—	—
		実 績	—	—	課題等の整理 ・報告書及び地域づくりの手引き作成	—	—
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	地域づくり計画策定 (実績)地域づくり計画書策定により、自然環境を活かした地域づくりのモデル的な取り組みが期待され、地域の一体感が期待される。	目 標	地域づくり計画策定	—	—	—	—
		実 績	地域づくり計画策定	—	—	—	—
	コイの移植先水路工事にに向けた設計の完了 (実績)地域との話し合いの中で、移植先の場所変更に伴った設計で完了する。	目 標	設計完了	—	—	—	—
		実 績	設計完了	—	—	—	—
	社会実験の実施による報告書の作成	目 標	—	報告書の作成	—	—	—
		実 績	—	報告書の作成	—	—	—
	「コイ」の移植施設整備工事の完了	目 標	—	工事の完了	—	—	—
		実 績	—	工事の完了	—	—	—
	「地域づくりゆんたく会」の開催(4回)	目 標	—	—	4回	—	—
		実 績	—	—	4回	—	—
	ツアープログラムメニューの開発	目 標	—	—	メニュー開発	—	—
		実 績	—	—	メニュー開発 (4メニュー)	—	—

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度		R3年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
	イベント・ツアーへの参加者数	目標	30人	70人	150人	272人以上
		実績	21人			
		目標				
		実績				
状況説明	【H30年度】 ・イベント・ツアーへの参加者数は21人となり、目標の30人を下回っている。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【H30年度】 ・イベント・ツアーへの参加者数が目標を下回ったことについては、イベント情報の発信時期に関する課題がある。 ・経験不足からくる準備の遅れも含め、受入側のキャパシティに不安がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【H30年度】 ・早めの計画設定を心掛け、余裕を持ってイベント情報を発信する必要がある。 ・関係者が情報を共有する機会や場を設定して、受け入れ態勢の強化を図る必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)						
【H30年度】 ・早めの計画設定や情報発信により、イベントへ参加しやすい雰囲気を作り、イベント参加者の増加につなげていく。 ・関係者の情報共有により、イベント等に向けた準備を効率よく行うことで、適正なキャパシティの把握やきめ細かな対応に努める。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						

市町村名		国頭村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光地の施設整備促進事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施年度	平成28年度 ~ 平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光地のサービス機能の強化による観光客の利便性向上を図るため、野外公衆トイレ・シャワー等の施設を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	総事業費	
	A. 予算現額	41,890				41,890	
	B. 執行済額	40,835				40,835	
	うち 交付金充当額	32,667				32,667	
	執行率(%) (B/A)	97.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.5%	
	執行状況の説明	一部住民から整備箇所の見直しの声があり、地域説明会等の協議・調整の必要が生じたことから、工事が遅れ、翌年度に繰り越した。 執行率は97.5%であり、計画的に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	建築設計業務の実施	目標	設計業務の実施	-	-	-	-
		実績	土質調査・実施設計の完了	-	-	-	-
	建築工事(設備含む)の実施	目標	工事(設備含む)の実施	-	-	-	-
		実績	建築工事・機械・電気設備工事の完了	-	-	-	-
	建築工事監理業務の実施	目標	工事監理業務の実施	-	-	-	-
		実績	工事監理業務の完了	-	-	-	-
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	建築設計業務の実施	目標	設計業務の実施	-	-	-	-
		実績	設計業務の完了	-	-	-	-
	建築工事(設備含む)の実施	目標	工事(設備含む)の実施	-	-	-	-
		実績	工事(設備含む)の完了	-	-	-	-
	建築工事監理業務の実施	目標	工事監理業務の実施	-	-	-	-
		実績	工事監理業務の完了	-	-	-	-

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
	利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のアンケートにより本事業のあり方の検証を実施	目標				80%以上
		実績				100%
		目標				
実績						
状況説明	【H30年度】 ・村内の公衆トイレを利用した感想についてアンケートを実施した結果、快適14名(66.7%)・普通7名(33.3%)・不快0名(0%)であり、利便性の確保について、「快適」と「普通」を合わせて100%であり、目標を達成した。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【H30年度】 ・利便性の確保については、常に施設を清潔に保つ必要があり、適切な清掃員の配置等の課題がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・		【H30年度】 ・清掃員による施設の点検等により、清掃効率の向上を図る必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【H30年度】 ・施設の点検等により、清掃時期、清掃回数の把握が可能となることで、清掃効率を考慮した適切な人員を配置して、当該施設の環境づくりに努める。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						